

平成30年度都道府県・市町村等日本語教育担当者研修

<事例報告2>

# 多文化共生のまちづくりを目指した 日本語学習支援者の育成事業

---

2018年6月14日

一般社団法人磐田国際交流協会 鈴木ゆみ・茂木眞佐代

# 一般社団法人磐田国際交流協会の取り組み

## 日本語教育

- ・日本語教室(市内4カ所)  
日本生活スタートクラス  
子ども学習支援 他
- ・日本語ボランティア養成講座
- ・多文化ソーシャルワーク研修



## 子育て・教育支援

- ・外国人児童生徒学習支援事業
- ・JSLサポーター養成講座
- ・多文化グローバル子育て教室
- ・多言語絵本よみきかせ
- ・磐田南高校定時制保護者会への協力
- ・リユース学用品・制服の提供



## 多文化防災

- ・自治会長と話そう  
「多文化共生」「防災」
- ・地域防災訓練参加
- ・水防演習参加
- ・いわた減災ネットワーク連絡会への参画

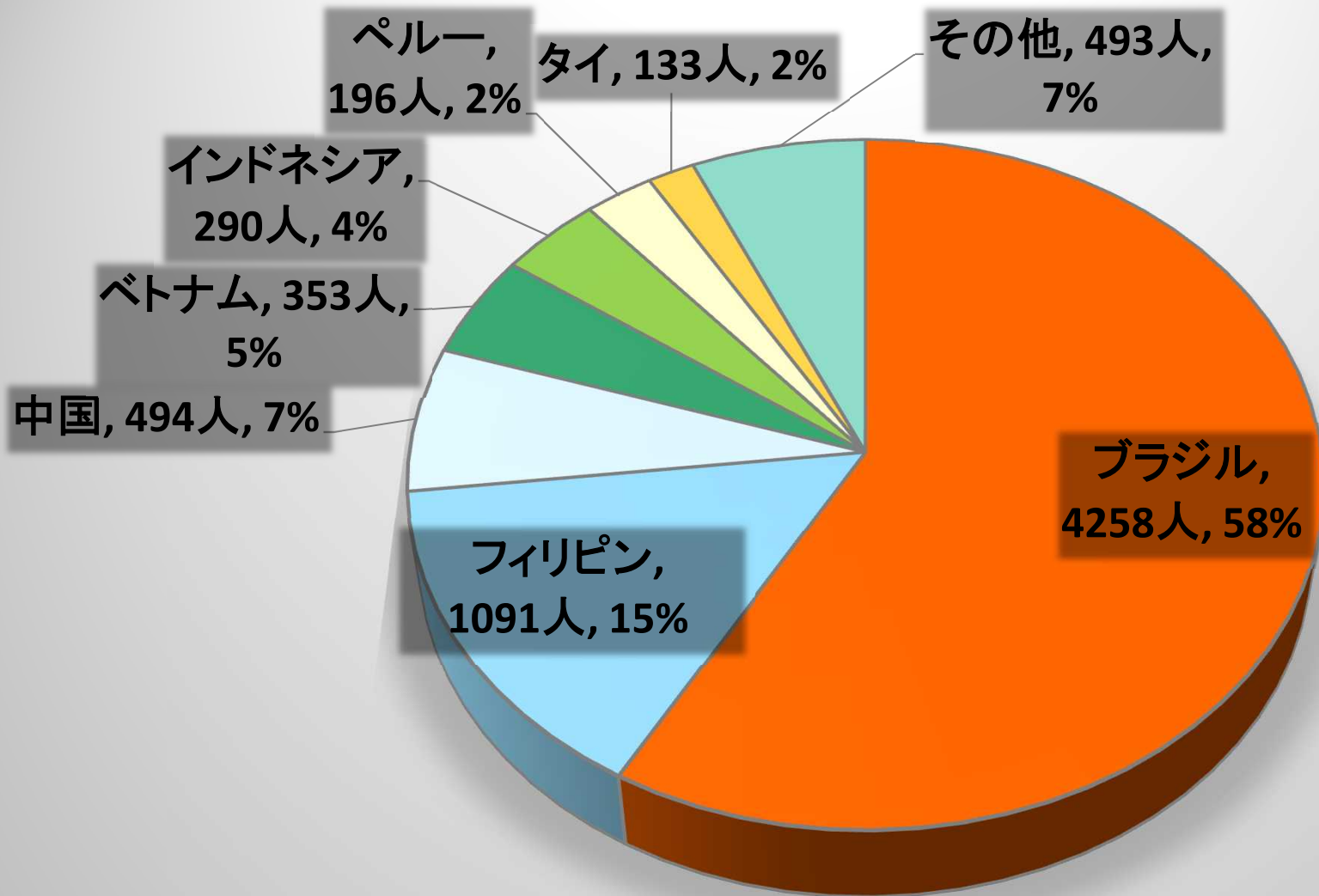


## 多文化交流・理解

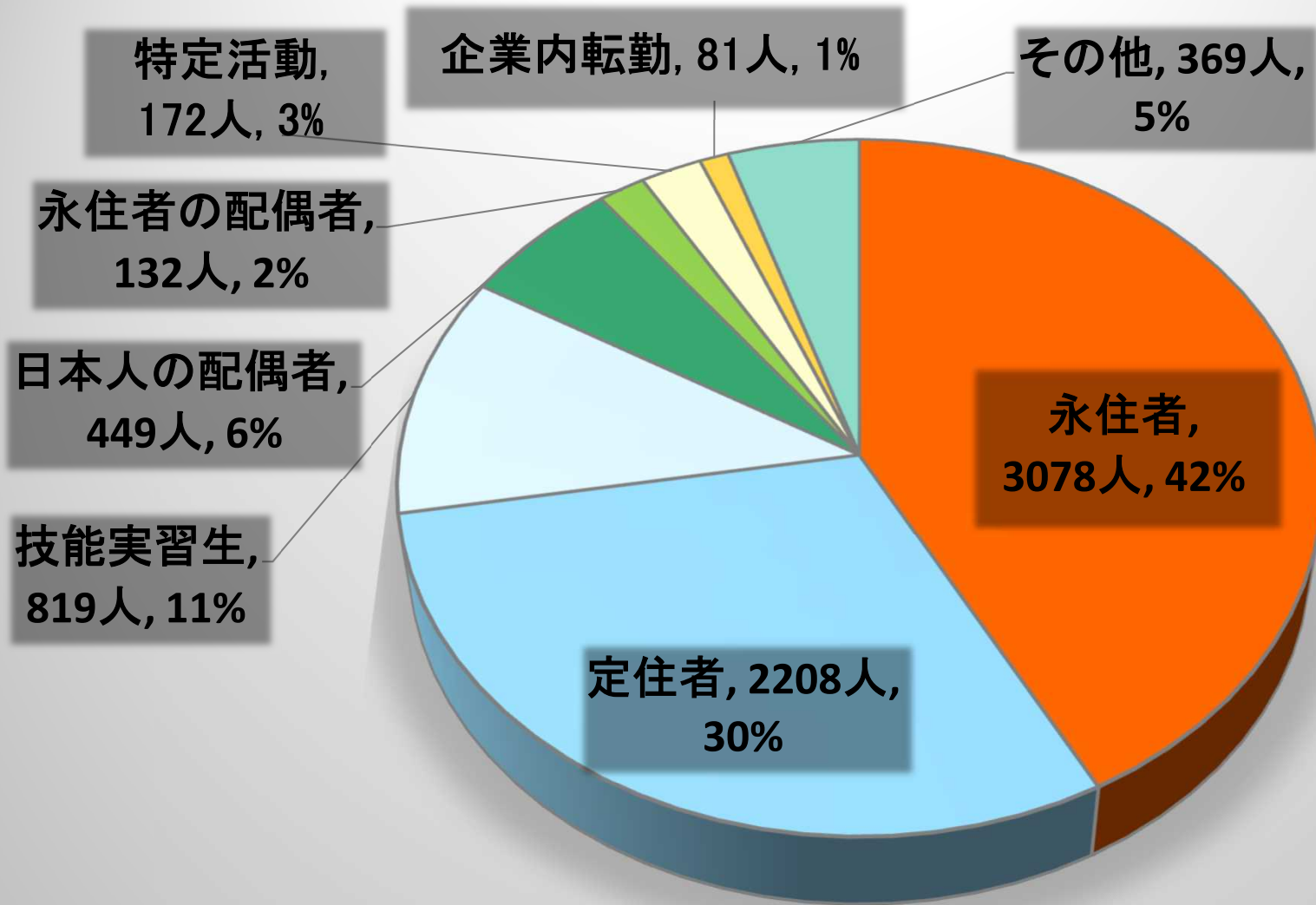
- ・いわたインターナショナルフォーラムの開催
- ・対話交流型ポルトガル語講座
- ・タイ語タイ文化講座
- ・バーベキュー交流会
- ・多国籍富士登山
- ・イヤーエンドパーティー



# 磐田市在住外国人の国籍別割合（2018年4月末現在）



# 磐田市在住外国人の在留資格別割合 (2018年4月末現在)



# 磐田市の多文化共生への主な取り組み

## 【会議】

磐田市多文化共生社会推進協議会

## 【計画】

磐田市多文化共生推進プラン 2007年第1次、2012年第2次、2017年第3次

**※別添「第3次磐田市多文化共生推進プラン(概要版)」参照**

⑩学齢期を過ぎた外国人の支援	37	日本語教室への支援	地域づくり応援課	国際交流協会
	38	大人の学び直しの支援	地域づくり応援課	国際交流協会

## 【情報支援】

①ポルトガル語通訳・翻訳：地域づくり応援課、収納課、子育て支援課、学校教育課、福祉課

②ポルトガル語版広報いわた『Boletim』

③外国人情報窓口：ポルトガル語・タガログ語・スペイン語・英語対応可、転入時オリエンテーション

## 【教育支援】

外国人児童生徒初期支援教室、外国人児童生徒相談員・支援員・JSLサポーター、多文化交流センター「こんにちは！」

## 日本語教室の視点から見た地域課題

- 日本人住民と外国人住民との接点が少ない
- 日本語が話せるようになっても、日常生活で使う機会があまりない
- 日本人住民と外国人住民との間に心理的な壁がある

# 地域日本語教育の体制整備

2005～

- 従来型日本語教室を設置

2007～

- 文化庁委託事業により地域連携を意識した日本語教室を設置
- 教室コーディネーターを配置

2009～

- 養成講座・研修会で対話型の活動を紹介

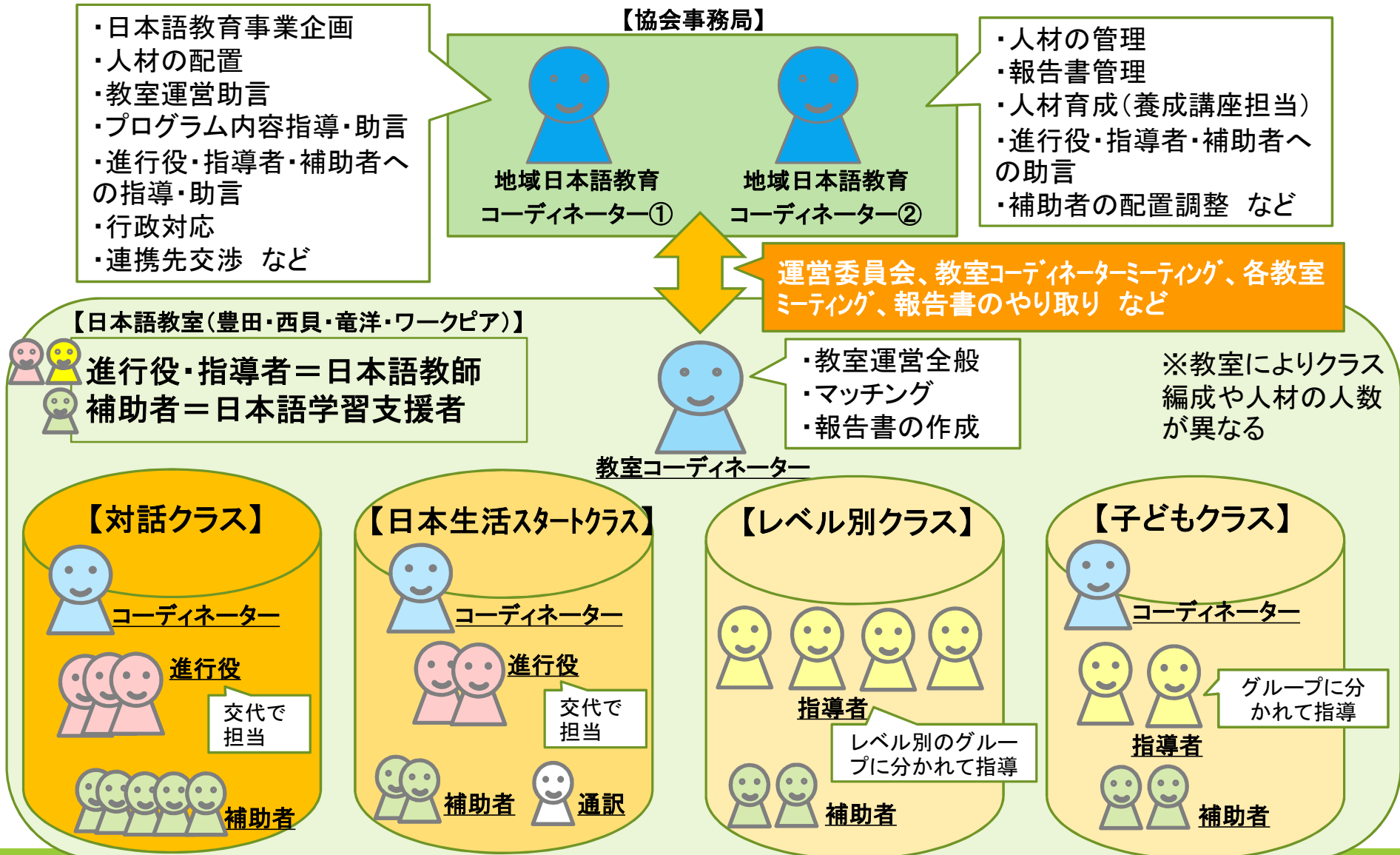
2011～

- 対話型の活動、行動・体験中心の活動を導入
- 参加型の行動・体験活動により外国人をエンパワーメント

2014～

- 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育実践プログラム(B)を活用
- 多様な連携により外国人の地域社会参加を目指す

# 日本語教育体制





# 専門人材の配置

	豊田教室	西貝教室	竜洋教室	ワークピア教室
 教室 コーディネーター	●養成講座修了者	●養成講座修了者	●養成講座修了者	◎日本語教師(初任)
 対話クラス コーディネーター	★日本語教師(中堅) ※事務局スタッフ	—	(教室コーディネーターが兼任)	●養成講座修了者
 対話クラス 進行役	◎日本語教師(初任) ●養成講座修了者	●養成講座修了者	●養成講座修了者	●養成講座修了者
 日本生活スタートクラス コーディネーター	—	—	—	★日本語教師(初任) ※事務局スタッフ
 日本生活スタートクラス 進行役	—	—	—	◎日本語教師(初任・中堅)
 レベル別クラス 指導者	◎日本語教師(中堅)	◎日本語教師(中堅)	—	◎日本語教師(中堅)
 子どもクラス  コーディネーター/指導者	●養成講座修了者 ・学校教員退職者 等経験者	◎日本語教師(中堅)	—	◎日本語教師(初任)

# 日本語学習支援者(補助者)の役割



■学習者の「対話」の相手になることで、地域社会へ出ていく前の「慣らし」として、関係性を築いていくためのスモールステップの役割を担う

■地域行事への参加など行動・体験活動で、地域の日本人住民と外国人を繋ぐ



# 養成講座・研修で身に付けてもらうこと

## A. 日本語ボランティア養成講座

- ・多文化共生のまちづくりの意識
- ・外国人とのコミュニケーション能力
- ・外国人と対等な関係性を築き共に学ぶ姿勢
- ・対話活動の流れと補助者の役割を理解する

※具体的な研修内容については別紙「日本語ボランティア養成講座」チラシを参照

＜補助者から進行役へのスキルアップ研修として＞

- ・対話活動のプログラムを作成できるようになる
- ・様々な日本語レベルの外国人に対応できるようになる

## B. 多文化つながり方デザイン講座

- ・行動体験活動のデザイン力
- ・連携・協力者との調整力

## C. 多文化ソーシャルワーク研修

- ・多文化ソーシャルワークの知識を得て、外国人に対する理解を深め、日本語教育活動に活かす
- ・必要に応じて助言したり、専門機関に繋ぐ

## 成 果

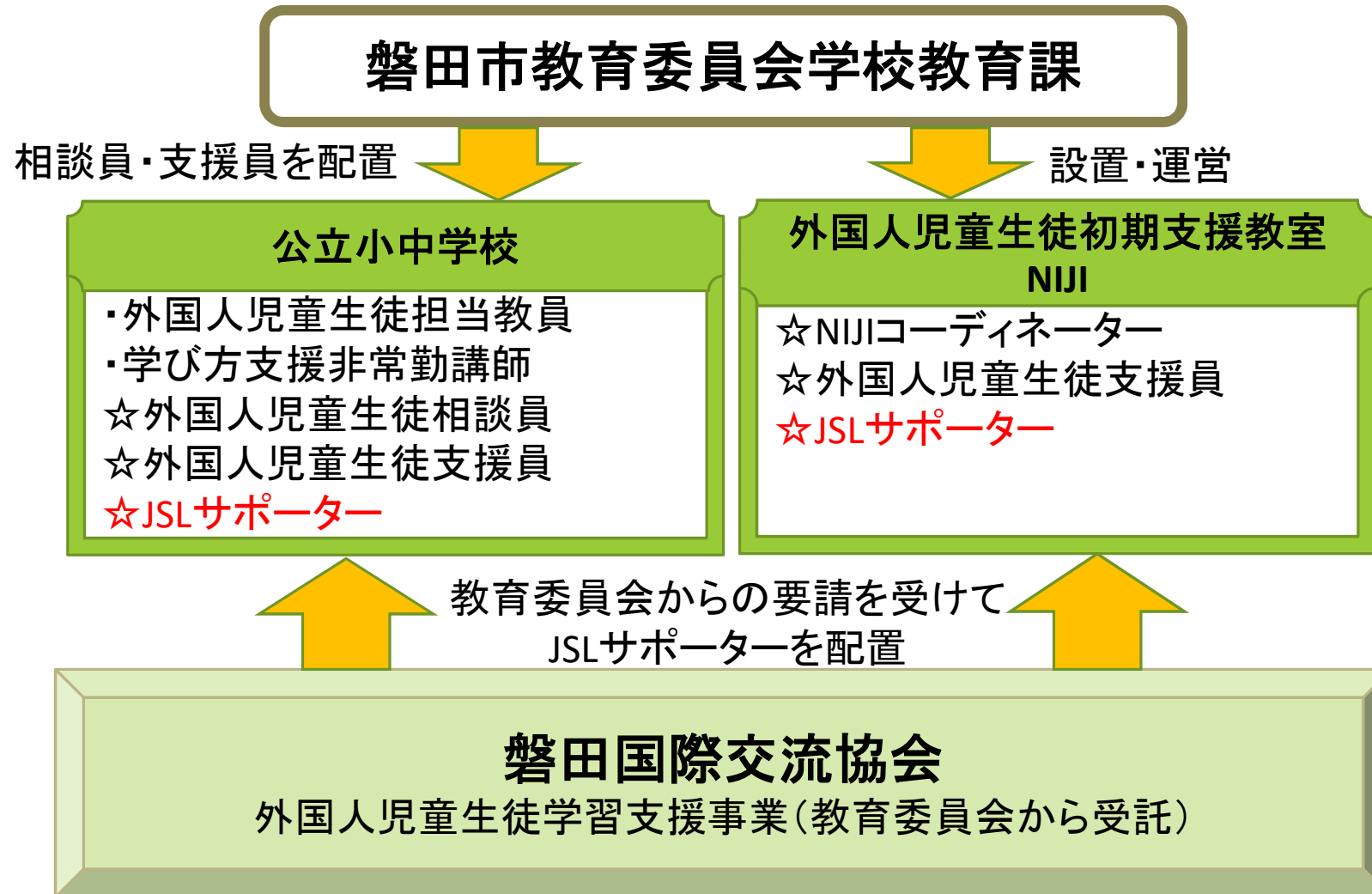
- 日本語学習支援者を配置することで、外国人のエンパワメントと、地域社会への参加が実現し、地域の活性化に繋がった
- 養成講座を継続的に実施することで、日本語教室の最終目的は多文化共生のまちづくりであるという共通認識が定着した
- 教室コーディネーターを配置することで、教室毎の自主運営が実現した
- 階層的にコーディネーターを配置することで、組織的な教室運営が可能になった

# 課題

- 日本語初心者に対応できる人材の育成
- 外国人を地域と繋げる活動を作れる人材の育成
- 教室コーディネーター(中核人材)の資質の向上
- コーディネーターの育成は1団体単独で行うのは難しいので、中広域での連携が必要

# 外国の子どもの学習サポーター（JSLサポーター）養成講座

## 磐田市の外国人児童生徒支援体制



# 外国の子どもの学習サポーター（JSLサポーター）養成講座

- JSLサポーターの役割 学校やNIJIで教員や支援員が外国人児童生徒に対して行う日本語指導をサポートする  
（入り込みや取り出しなど学校での日本語学習支援者）
- 養成講座のねらい
  - ・外国人児童生徒の現状を知る
  - ・学校組織における支援であることを認識する
  - ・サポーターに求められていることを理解する

## 講座の概要

全5回（7月～11月）

- 第1回 外国の子ども事情を学ぶ（公開講座）
- 第2回 サポートを見学する（市内小学校にて）
- 第3回 サポート方法を学ぶ（現役サポーターも受講）
- 第4回 サポートを体験する①（市内小学校にて）
- 第5回 サポートを体験する②（市内小学校にて）

対象：学校において外国人児童生徒に対する日本語指導をサポートする活動に関心のある人

定員：8人

受講料：無料

# 外国の子どもの学習サポーター（JSLサポーター）養成講座

## 成果と課題

### 成果

- ・受講者から新たなサポーターが誕生し、JSLサポーターの安定的な配置が可能になった。
- ・JSLサポーターの配置により、外国人児童生徒が学校でより自立した生活を送れるようになり、日本語習得や教科学習に効果があった。
- ・JSLサポーターの配置により、教員の外国人児童生徒に対する理解が深まり指導に役立った。

### 課題

- ・JSLサポーターの継続的な人材補充のためのシステム整備
- ・JSLサポートの役割を理解し有効に活用してもらえるように、教育委員会との連携を強化する
- ・人材発掘・養成のための財源確保